
ヘタリア小説リクエスト 待ってます！

なるなるとよっしー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヘタリア小説リクエスト 待つてます！

【NZコード】

N1673R

【作者名】

なるなるとよっしー

【あらすじ】

本文参照なのです。九條とよっしーがお送りいたします。

よひじくべやす

九「みなさま今晚は」 こんにちは 九條です。」

や「おはこんばんわよつしーですわよー。」

九「：はい、この何かでは、何かをするためにこの」

や「変態的な作者たちの欲求を」

九「満たすのはダレ」

や「というようなことです嘘だけビ」

九「うつそだつけどーー？」

や「つまりなんかこのグダグダな一人がリクエストに答える感じです。」

九「こんな一人（とくに私）にりくなんかくるつばずがありませんがあ、」

や「よろしくですー。」

九「よろしくー」

や「以上、九條のアカからお送りいたしました。よろしくお願ひします。あとによ日以外認めねえ！」

「 だそうです。」

九「いえいえ、雑食系なわたくしはナタ嬢・リヒ・ベル・連合王国とかなんでもいけるから。では。」

反省はしている。だが後悔はしていない。
（後書き）

リクエスト小説その1。

頭が、真っ白になつた。

あいつが他の女性と仲良く連れたつてお喋りをしていた。

それを私に見られて気まずそうに顔を逸らした。

それだけで私は……

近くのビルに駆け上がつて屋上に行つた。

いつのまにか雨が降つていて屋上には誰も居なかつた。

私は冷たい雨に打たれながら思つ。

さつきの光景を頭の中に反芻し、それで得た結論はただ単純なく浮氣♪というものだつた。

いや違つ。

そう、自分たちは付き合つて無かつたのだ……

それなのに偉そうに浮氣なんて、勘違いもいじつだ。
自分こそ何なんだろう。

勝手に勘違いして……

「……ひつ……」

何故か頬に雨とは違う暖かいものが伝つた。
そして止まらなくなつた。

ただ、哀しくて、哀しくて。

「アメリカのばかあ……」

「誰が馬鹿なんだい？」

「だからアメリカ……え？」

何故か、私の後ろに「アメリカが居た。

「なんで……」

「君が、雨が降っているのに傘も差さずに行ってしまったからだよ。」

「そんな……どうでもいい……じゃないの、私のことなんて……」

「どうでもよくないよ、だって今日は……」

「そう言い、アメリカは私に傳いて……」

「好きだよ。」

そう言った。

一瞬何を言われたのか分からなくて、理解すると…

「え……いや……ええええええ！？何言つてるのアンター！」

「聞けえなかつたかい？だからす「わあああああー言わないでー」「

え…すれ…すれ…

「しょ…しょうがないから、アンタが言つならつもあつてあげても
いいけどーアンタの為にねーー！」

そんな…別に…アンタの為につきあつてあげるんだからー！

「ありがとう、イギリス。」

「勘違いしないでよ、アンタの為だからー私の意志じゃないからー。」

なんか自分でも何いつてるか分からなくなってきた…。

～それから少しあとのこと～

「で、結局あの女性は何だったの？」

「う…それは、あの、その、アレだよアレ。」

「…………アメリカのばかあーーー！」

「ああ、待つんだぞー。」

リクエスト小説その1。（後書き）

くろひつじ様からのリクエスト「アメリカとによ英」です。執筆よ
しおかです。

くろひつじ様、遅くなりすみませんでした：

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1673r/>

ヘタリア小説リクエスト 待ってます！

2011年10月8日15時17分発行